

# 基礎・境界ソサイエティ 研究専門委員会推薦論文制度

## 1. 制度名称

研究専門委員会推薦論文

## 2. 理念・背景

和文論文誌編集委員会は、各研究専門委員会が優秀な研究を指導し、その論文投稿を促すことにより、最新の研究方向、評価をより敏感に反映した論文誌を作りたいと考える。更に各研究専門委員会は、論文誌への貢献を通じ、研究会自身の存在理由を主張されることを期待する。

もとより研究専門委員会から編集委員の推薦を受ける等の施策を通じ、各研究専門委員会の論文誌編集への意思反映をはかってきたところではあるが、更に研究専門委員会の個々の論文への評価がより直接的に論文誌編集に反映できるべきであると考ええる。

## 3. 目的

基礎・境界ソサイエティでは、研究専門委員会の活性化及び投稿論文の増加を目的として、各研究専門委員会が主催または共催するシンポジウム・研究会等で発表された論文の中から優れたものについて、和文論文誌への投稿を促し、研究専門委員会の活動を支援する。

## 4. 運用

現用の「査読制度」のもとに運用する。

## 5. 推薦・査読基準

### 1. 投稿処理手順

- (1) 当該研究専門委員会は、関連したシンポジウム・研究会等における口頭発表論文の中で研究専門委員会推薦論文にふさわしいものを決定し、研究専門委員会委員長名で、講演者へ研究専門委員会推薦論文投稿依頼状を送付する。この際に推薦論文の内容をより良くしていただくためのコメントを付ける。
- (2) 研究専門委員会推薦論文投稿依頼状を発行した研究専門委員会は、ただちに和文論文誌A編集委員長宛に研究専門委員会推薦論文推薦状を送付する。  
推薦論文を査読する適切な査読候補者がいる場合、1名に限り研究専門委員会委員長名で、論文誌編集委員会へ査読者を推薦することができる。ただし、最終的な査読者の決定は、論文誌編集委員会にて行う。
- (3) 推薦を受けた講演者は、研究専門委員会推薦論文投稿依頼状の発行後6ヶ月以内に、投稿のしおりに記載の手続きに従い学会事務局へ投稿する。投稿の際には、論文に研究専門委員会推薦論文投稿依頼状写しを添付することにより、論文誌編集委員会では研究専門委員会推薦論文として扱う。
- (4) 各研究専門委員会からの推薦論文の上限は特に認めず、各研究専門委員会の判断に委ねる。
- (5) シンポジウム等での発表論文については、一番関連が深いと思われる研究専門委員会が推薦することができる。

## 2. 査読方法

- (1) 研究専門委員会推薦論文も、通常の論文と同様に2名で査読にあたる。査読者のうち1名を当該研究専門委員会から推薦することもできるが、最終的な査読者の決定は、論文誌編集委員会にて行う。
- (2) 査読者には、当該投稿論文が当該研究専門委員会からの推薦論文であることを連絡し、研究専門委員会からのコメントを参考資料として添付する。
- (3) 査読方針、採録基準は、通常の論文と同様にする。

## 6. 本制度による利点、活性化

- (1) 研究専門委員会の主体性、存在理由の主張  
研究会活動の論文誌を通じての積極的広報、将来性ある研究の支援、研究分野の積極的誘導
- (2) 論文誌の活性化  
優秀論文の査読期間の短縮、研究動向を反映した論文誌の編集
- (3) 優秀研究者のインセンティブ向上  
研究専門委員会への積極的参加、他学会から当学会論文誌への優秀論文投稿の変更

## 7. 備考

- (1) 論文掲載方法：目次に「〇〇研究専門委員会推薦論文」、論文脚注に「本論文は〇〇研究専門委員会推薦論文である」と記す。
- (2) 研究専門委員会推薦論文の採録数（または採録率）の報告：論文誌編集委員会より、運営委員会に年1回報告する。
- (3) 本研究専門委員会推薦論文制度を特集号に採用するかどうかの判断は、当該特集号編集委員会に委ねる。

(付則)

2004年3月29日 基礎・境界ソサイエティ運営委員会 承認・実施

## 研究専門委員会推薦論文投稿依頼状

所属

様

年 月 日

〇〇研究専門委員会  
委員長 △△△△ 印

貴殿が、\_\_\_\_\_にて報告されました下記論文は、本研究専門委員会において、論文誌論文となりうる優秀な報告であると判断しました。当学会和文論文誌へ是非投稿して頂きたくお願い申し上げます。本依頼状の発行後 6 ヶ月以内に本状の写しを添付して投稿頂ければ、研究専門委員会推薦論文として扱われます。なお、新たな論文名は、下記発表の論文名と完全に一致している必要はございません。研究専門委員会推薦論文であっても論文誌編集委員会において通常の査読基準に従って採否が決定されます。採録の際には、目次に「〇〇研究専門委員会推薦論文」、論文脚注に「本論文は〇〇研究専門委員会推薦論文である」と明記されます。

投稿者チェックリストや Copyright Transfer Form に関しましては、「投稿のしおり」をご参考の上、通常論文の投稿手続きに沿って提出願います。「投稿のしおり」をお持ちでない方は、電子情報通信学会出版事業部(tel.03-3433-6692) にお問い合わせ頂くか、次の電子情報通信学会ホームページをご参考下さい([http://www.ieice.org/jpn/shiori/ja/shiori\\_ja.pdf](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ja/shiori_ja.pdf))。

### 記

1. 推薦論文名：  
研究会資料番号等：  
著者名：  
所属：  
著者連絡先：  
Tel/Fax：  
E-mail：
2. 推薦理由
3. 研究専門委員会からの推薦論文をより良くするためのコメント

以上

研究専門委員会推薦論文推薦状

和文論文誌 A 編集委員会委員長 殿

年 月 日

〇〇研究専門委員会

委員長 △△△△ 印

当研究専門委員会は、以下の論文を研究専門委員会推薦論文として推薦いたしましたので、ここに依頼状の写しを添付いたします。なお、投稿の際には、査読者として下記の方を推薦致します。

記

1.

推薦論文名：  
研究会資料番号等：  
著者名：  
所属：  
著者連絡先：  
Tel/Fax：  
E-mail：

2.

査読者名：  
所属：  
所在地：  
Tel/Fax：  
E-mail：

以上